

FMU 男女共同参画通信

第19号 December 2018
福島県立医科大学男女共同参画支援室



寒さも一層厳しさを増す中、早いものであたたかい師走となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。本支援室では、来年も様々なイベントを開催いたします。引き続き、変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



平成30年度全員参加型SD講習会男女共同参画講演会を開催しました

10月19日（金）本学の講堂において、『平成30年度全員参加型SD講習会福島県立医科大学男女共同参画講演会』を開催いたしました。

講師に、秋田大学大学院医学系研究科 公衆衛生学講座 教授 野村恭子先生と自治医科大学附属さいたま医療センター 一般・消化器外科 教授 力山敏樹先生を招聘し、ご講演をいただきました。

野村先生には「男女共同参画推進のエビデンス～疫学研究の結果から学ぶもの～」と題し、女性医師のキャリア構築に関する課題についてお話いただきました。



力山先生には「女性外科医の育成とワークシェア・ワークライフバランス」と題し、女性外科医が仕事を継続出来る環境に向けた取り組みについてお話いただきました。

参加者からは「研究知見を示しながらわかりやすくお話いただき大変興味深かったです」「自治医大のとりにくみは全職種に共通するので大変学びになりました」等の感想が寄せられました。

FMU カフェを開催しました



男女共同参画・ワークライフバランスの観点から様々な意見交換が行える場として「FMU カフェ」を開催しております。今回は、本学病態制御薬理医学講座 教授 下村健寿先生に『英語プレゼン、英語論文の書き方』と題し、全2回シリーズでご発表いただきました。第1回目の9月は「英語プレゼンの方法」として英語に親しむ方法について、第2回目の10月は「英語論文の書き方」として、使える英語をいかに習得するかについてお話いただきました。



参加者からは「構成こそ大事と分かりよかったです」「たくさんの笑いあるセミナーをありがとうございました。英語に対してあまり構えずに向き合うことが大事だと受け取りました」等の感想が寄せられました。

FMU スキルアップセミナーを開催しました

研究者において、性別に関わらずそれぞれの能力を最大限発揮できる環境整備の一環として、9月5日（水）「第9回 FMU スキルアップセミナー」を開催しました。講師にエルゼビア・ジャパン（株） 井上淳也氏をお招きし『文献検索セミナー“重要論文の見分け方・研究トレンドの見つけ方”』と題し、お話いただきました。

参加者からは「とても勉強になり、今後役に立ちそうです」「より詳しい内容をまた開催していただきたいです」等の感想が寄せられました。



FMU キャリアアップセミナーを開催しました

男女共同参画の視点から人材の育成やキャリアアップを目的として、11月16日（金）「第10回 FMU キャリアアップセミナー」を開催しました。本学医学部附属生体情報伝達研究所生体機能研究部門 教授 小林和人先生に「自らのキャリア形成を振り返って」と題しお話いただきました。

参加者からは「先生の良い人柄がでている楽しいセミナーでした」「進路のふしめごとに自分の研究に対する疑問を見つけ、積極的に研究の場を移されているのはすごいと思いました」等の感想が寄せられました。



10月より、女性医師支援の取組の一環として、主に女性医師に向けて、当室支援事業のご説明を行っております。今年度は、特に臨床系講座を対象に室長が直接お伺いします。皆様のご理解とご協力をお願い致します。



ハラスメント 一言メモ

「妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメント」をご存じですか？ <その1>

妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントとは、「職場」において行われる上司・同僚からの言動（妊娠・出産したこと、育児・介護休業等の利用に関する言動）により、妊娠・出産した「女性労働者」や育児・介護休業等を申出・取得した「男女労働者」等の就業環境が害されることを言います。

ハラスメントの内容により「マタハラ（マタニティハラスメント）」「パタハラ（パタニティハラスメント）」「ケアハラ（ケアハラスメント）」とも呼ばれています。

ここで言う職場とは、通常就業している大学内だけでなく、出張先や宴会の場など実質的に業務の延長上である場所も該当します。

また、労働者には、正規職員だけでなく、准職員、非常勤職員や派遣労働者等も含まれます。

（厚生労働省「職場におけるハラスメント対策マニュアル」より一部抜粋）

文責：ハラスメント対策委員会事務局（総務課大学人事係）薄
★ハラスメント相談メールボックス s-soudan@fmu.ac.jp★

「研究支援員の配置に係る要望調査」のご案内

ライフイベント（出産・育児・介護・看護等）を抱えた教員の研究支援を行っております。つきましては、平成31年度上半期配置分の調査を行います。

支援期間：H31年4月1日
～H31年9月30日

1. 対象者：

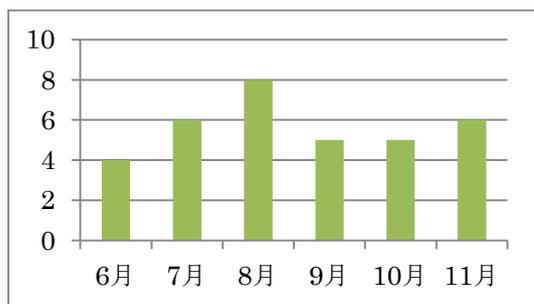
本学の主に医学部・看護学部・会津医療センターに所属する助手以上（大学院生も含む）の研究者（性別は問いません）のうち①～④にあてはまる教員。

- ①妊娠中
- ②家庭において、小学校6年生までの児童の主たる養育者
- ③同居・別居に問わず要介護認定を受けている親族の主たる介護者
- ④その他、上記に準ずる（家族の看病をしている等）状況

2. 支援を希望される方：

1月に配布予定の調査票にて、詳細をご確認ください。

女性休養室 利用件数



- 対象：本学女性教職員
- 場所：本学附属病院みらい棟2階スタッフルーム内
- 時間：土日・祝日・年末年始を除く平日（9時～17時）



利用条件等の詳細は男女共同参画支援室HPをご確認ください。
<http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/board/3620/>

Information

FMU キャリアサポート交流会

- 平成31年1月25日（金）
16:30～18:30
- 8号館 3階 S308、S309
- 山口 晶子 様
（法務省福島刑務支所 医務課長）
- 片倉 響子 様
（本学消化器内科学講座 講師）
- 荒木 梨恵 様
（本学災害医療・高度救命救急センター看護技師）

福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、仕事と生活の調和を実現することを目指しています。

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

E-mail: gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel: 024-547-1657 (内線: 2807) / HP: <http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>
男女共同参画支援室長 小宮 ひろみ / コーディネーター 井上 明子